

宗内寺院紹介 **40**

西国二十六番札所

法華山 一乗寺



一乗寺は大化五年（六四九）に当山の法道仙人が宮中に召され孝徳天皇の病を治したお礼に同天皇が勅令を出されて創建された。
 永延元年（九八七）に花山法皇が西国三十三所巡礼の際、第二十六番札所と定められ、「春は花 夏は橘 秋は菊 いつも妙なる 法の花山」と御詠あり、これが当山の御詠歌となった。
 正和五年（一三一六）、後醍醐天皇勅願にて笠塔婆を建立され、住侶宇都宮長老に勅して二階九間の講堂を造り、建武二年（一三三五）文観上人に落慶法要を修せしめられた。
 大永三年（一五二三）山名・赤松の兵乱によって堂宇を焼かれ、一部を除いて寺産を蕩尽し、永禄五年（一五六二）地藏院永厳は赤松義祐公の助力を得て諸堂を復旧し、所有地の公租を国免とする寄付状をうけ、尼子・池田氏もこれを安堵した。
 寛永五年（一六二八）徳川家光公は義祐公国免の地百二十一石一斗七升を永く朱印地とされ、明治維新に際してこれを奉還上地した。
 明治四十一年十月、山林三十九町二反五畝の下げ戻しあり現在に至る。

①本堂大悲閣(重文) ②三重塔(国宝) ③伝教大師最澄像(国宝)
 ④金輪の庭(参道入口) ⑤慈覚大師円仁像(国宝)

西国二十六番札所 法華山 一乗寺

住 所 / 〒675-2222 兵庫県加西市坂本町821-17

電話番号 / 0790-48-2006 FAX番号 / 0790-48-3848